

## 1. 略歴

1981年3月	東京大学文学部第三類フランス語フランス文学専修課程卒業
1981年4月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学（仏語仏文学）
1985年4月	東京大学大学院人文科学研究科専攻博士課程進学
1985年9月	パリ第3大学博士課程（～1989年3月）（フランス文学、フランス政府給費留学生）
1989年4月	東京大学文学部助手
1990年4月	一橋大学法学部専任講師
1993年4月	一橋大学法学部助教授
1997年5月	一橋大学大学院言語社会研究科助教授
2000年4月	東京大学大学院総合科学研究科助教授
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授、現在に至る

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

ジェラルド・ド・ネルヴァルの作品を中心とするフランス・ロマン主義文学。フランス現代小説、映画論。

### b 研究課題

- (1) フランス・ロマン主義文学における「作者」像の成立と変容。
- (2) フランス19世紀文学史の再検討。
- (3) フランス現代小説における「作者」像の解体と再生。
- (4) フランス映画における多文化主義と異文化交渉の表現。

### c 主要業績

#### (1) 著書

共編著、石坂健治、市山尚三、野崎敏、松岡環、門間貴志、『アジア映画の森 新世紀の映画地図』、作品社、2012.6、368p.

編著、『文学と映画のあいだ』、東京大学出版会、2013.6、244p.

単著、『フランス文学と愛』、講談社現代新書、2013.10、268p.

編著、石坂健治、夏目深雪、野崎敏、『アジア映画で〈世界〉を見る』、作品社、2013.10、320p.

単著、『翻訳教育』、河出書房新社、2014.1、219p.

単著、『映画、希望のイマージュ——香港とフランスの挑戦』、弦書房、2014.2、65p.

#### (2) 論文

« De l'idolâtrie au dialogue : les écrivains japonais et la littérature française », *La Nouvelle Revue Française*, n.599-600, 2012.3, pp.130-145

「映画の中の建築——仮想と現実」、『建築と社会』、no.1098、2013、pp.18-19

「欲望の不壊——ロマン主義からフロイトへ」、『思想』、4月号、2013.4、pp.125-142

« Truffaut in the Mirror of Japanese mirror », ed. by Dudley Andrew and Anne Gillain, *A Companion to François Truffaut*, Wiley-Blackwell, 2013.4, pp.388-400

「写真への抵抗——現代フランス小説と写真」、塚本昌則編、『写真と文学 何がイメージの価値を決めるのか』、平凡社、2013.10、pp.96-112

#### (3) 学会発表・講演等

董啓章講演会「未来の考古学——21世紀初に香港で書くこと」コメンテーター、東京大学中国文学研究室主催、2012年12月8日、東京大学本郷キャンパス、法文2号館2大教室、15時～17時30分

講演「作者と訳者の境界で」、日本近代文学会関西支部秋季大会、関西大学、2013年10月27日

講演「香港映画は二度死ぬ——返還以降の挑戦」福岡ユネスコ協会主催、福岡市総合図書館共催、2013年6月1日、福岡市総合図書館、14時～15時15分

講演「21世紀のフランス映画——希望のイマージュ」福岡ユネスコ協会主催、福岡市総合図書館共催、2013年6月2日、福岡市総合図書館、11時～12時15分

石坂健治、野崎敏、夏目深雪鼎談「アジア映画の境界線」アテネ・フランス文化センター主催、2014年2月2日、映画美学学校試写室、20時～21時

(4) 翻訳

共訳、イレヌス・ネミロフスキー、野崎敏、平岡敦訳『フランス組曲』(原題: *Suite française*)、白水社、2012.11、565p.

個人訳、ジャン＝フィリップ・トゥーサン、野崎敏訳『マリーについての本当の話』(原題: *La Vérité sur Marie*)、講談社、2013.11、175p.

個人訳、ミシェル・ウエルベック、野崎敏訳、『地図と領土』(原題: *La Carte et le territoire*)、筑摩書房、2013.11、402p.

(5) 書評、解説等

「クロード・シモン『農耕詩』書評」『東京新聞』2012年4月1日

「クツェー『遅い男』書評」『文藝春秋』2012年5月号、pp.409-410

「街と映像の記憶」『FORE』第75号、2012年5月、pp.10-11；同第76号、pp.10-11；同78号、pp.10-11；同80号、pp.10-11

「文学が映画をつづる——『ル・アール・ヴル』の靴みがき」『キネマ旬報』2012年5月下旬号、n.1611、pp.36-37

「大江健三郎『芽むしり仔撃ち』合評 奥泉光、野崎敏、町田康」『群像』2012年6月号、pp.229-241

「黒川創『いつか、この世界で起こっていたこと』書評」『新潮』2012年7月号、pp.414-415

「前田速夫『古典遊歴』書評」『文藝春秋』2012年7月号、pp.409-410

「ル・クレジオ『ル・クレジオ、映画を語る』書評」『日本経済新聞』2012年7月15日

「現代フランスの出版事情」(項目執筆)、『フランス文化事典』田村毅・塩川徹也・西本晃二・鈴木雅生編、丸善出版者、2012.7

「シェフェール『映画に行く普通の男』書評」『文藝春秋』2012年9月号、pp.409-410

「回帰する者たちの肖像 辻原登『父、断章』」『すばる』2012年10月号、p.444

「アンドレ・シフリン『出版と政治の戦後史』書評」『日本経済新聞』2012年9月30日

「ヤン・カルスキ『私はホロコーストを見た』書評」『文藝春秋』2012年10月号、pp.408-409

「世界の文化・フランス」『東京新聞』2012年10月9日

「中川右介『未完成』書評」『文藝春秋』2013年4月号、pp.412-413

「山田詠美『明日死ぬかもしれない自分、そしてあなたたち』書評」『新潮』2013年5月号、pp.346-347

亀山郁夫『偏愛記 ドストエフスキーとの旅』解説、新潮文庫、2013年6月、p.289-294

「離散と流浪——ウォン・カーウアイの人生」『キネマ旬報』2013年5月下旬号、No.1636、pp.35-37

「鈴木道彦『マルセル・ブルーストの誕生』書評」『日本経済新聞』2013年6月2日

「明星で観る香港映画」『日本経済新聞夕刊』2013年6月6日、13日、20日、27日

「シンガー『不浄の血』書評」『文藝春秋』2013年6月号、pp.412-413

「個人的な詩集——動物詩集」『群像』2013年8月号、pp.116-123

「忠実な超訳——映画版『うたかたの日々』の驚異」『ムード・インディゴ うたかたの日々』パンフレット、ファントム・フィルム、2013年7月

「高橋英夫『文人荷風抄』書評」『文藝春秋』2013年8月号、pp.410-411

「四方田犬彦『ルイス・ブニュエル』書評」『東京新聞』2013年8月18日

『溝口健二著作集』書評、北海道新聞、2013年8月25日

「対談 プルーストを読むことは、自分自身を読むこと」鈴木道彦、野崎敏、「すばる」2013年、10月号、pp.148-167

「世界の現代文学 『異邦人』」『東京大学新聞』2013年10月15日

野崎敏、沼野充義『美しいフランス語』の行方——フランス文学はどこから来て、どこへ行くのか、沼野充義編『やっぱり世界は文学でできている 対話で学ぶ (世界文学) 連続講義2』、光文社、2013.11、pp.59-118

「ジャンヌ・ダルクが宿す神秘の闇」『キネマ旬報』、No.1649、2013年11月上旬号、pp.24-25

「祈念へ、無垢へ 大江健三郎『晩年様式集』」『群像』2013年12月号、pp.234-235

「対談 文学と愛、哲学と愛」野崎敏、大澤真幸、「群像」2014年1月号、pp.184-199

江國香織『抱擁、あるいはライスに塩を』解説、集英社文庫、2014年1月、同書下巻、pp.327-333

『作者の死』の彼方に——ミシェル・ウエルベックの挑戦「ちくま」2014年1月号、pp.4-5

「半歩遅れの読書術」『日本経済新聞』2014年2月9日、16日、23日

「空想と人生 松波太郎『LIFE』書評」『群像』3月号、pp.306-307

「対談 バルザック／ウエルベック ミッシェル・ウエルベック『地図と領土』（筑摩書房）刊行を機に」野崎敏、小野正嗣、「週刊読書人」2014年2月14日

「厳粛で愉快な精神の自由人 映画監督アラン・レネを悼む」毎日新聞夕刊、3月10日

「秋丸知貴『ポール・セザンヌと蒸気鉄道』書評」『週刊読書人』2014年3月28日

(6) **研究テーマ**

文部科学省科学研究費補助金、野崎敏、研究代表者、「フランス・ロマン主義における「作者」像の成立と変容をめぐる総合的研究」、2013～

**3. 主な社会活動**

(1) **学会**

日本フランス語フランス文学会員

(2) **学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員**

小西国際交流財団、日仏翻訳文学賞選考委員、2010.1～2012.12

小西国際交流財団、日仏翻訳文学賞選考委員長、2013.1～